

農家の力で地域を水害から守る 田んぼダム

【通常時】



【田んぼダムイメージ】



通常時と、田んぼダム用のセキ板を設置した時では、排水量に大きな違いがあることが分かります。今回はV字型の堰板で検証していますが、設置するセキ板に決まりはなく、通常のセキ板の上にもう一枚セキ板を設置したりすること等も可能です。

「田んぼダム」とは？

田んぼが持つ「水を貯める機能」を活用し、大雨が降った時に、雨水を一時的に田んぼに貯めることで、下流域での洪水被害を軽減しようとする取組です。



①取組田の選定

畔が痩せている場合、災害の恐れがあるため、ほ場整備を実施した田んぼ等、畦がしっかりしている田んぼを選定します。



②セキ板の設置

既存のセキ板の上に、田んぼダム用のセキ板を設置します。セキ板は適宜加工し、排水柵の幅に合わせます。



③設置期間

中干や収穫前等の落水時には、堰板を取り外す等、営農活動に支障のない範囲で設置します。

セキ板設置例

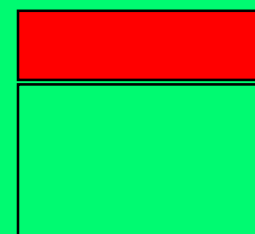
項目	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
水稲作付	田植				収穫		
(水管理)	深水	浅水	間断かん水	間断かん水	落水		
セキ版設置期間	設置	取外し	設置	取外し	設置	取外し	



多面的機能支払
交付金事業
活用可能

交付金が加算されます！！

資源向上支払交付金(共同)



追加加算単価

400円/10a or 300円/10a

従来単価

2,400円/10a or 1,800円/10a

※資源向上支払交付金(共同)の活動を5年以上実施した組織は加算単価300円となります。

尚、加算を受けるためには、交付対象面積のうち**5割以上**で田んぼダムに取組む必要があります。